

令和5年度
(2023年度)

学校関係者評価報告書

令和5年(2023年) 4月 1日から

令和6年(2024年) 3月31日まで

令和6年(2024年)7月18日

学校法人吉田学園
吉田学園医療歯科専門学校

■令和5年度 学校関係者評価について

〈説明〉

医療系専門学校の社会的責任を果たすため、本校の校訓や教育目標、教育実績などの実態と照らし合せ、自らの教育研究活動等の状況を自己点検、自己評価し、現状の把握・認識に努め、課題や改善を要する点などを検証し、教育の質・水準の向上、学校関係者への報告によるガバナンスの改善につなげるとともに組織的継続的な取り組みを図り学校運営力の向上に努めていくことを目的に実施する。

1. 実施日時

令和6年7月18日(木) 18:00～18:50

2. 実施場所

吉田学園医療歯科専門学校 2階会議室

3. 実施方法

(1)実施組織:学校関係者評価委員会

○学校関係者評価委員

菊池 恒 札幌狸小路商店街振興組合 理事・会長

小島 修二 札幌創成高等学校 校長

八若 保孝 北海道大学大学院歯科研究副院長 教授 ※欠席

松原 明勇 石狩北部地区消防事務組合 石狩消防署警防課 救急担当

○学校職員

河原 範毅 吉田学園医療歯科専門学校 校長

三上 剛人 吉田学園医療歯科専門学校 副校長

齋藤 勤 吉田学園医療歯科専門学校 副校長補佐 ※欠席

(2)評価基準:文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

(3)評価方法:令和5年度学校運営・教育活動実績報告書に対する学校関係者評価

4. 評価項目

次の11項目について実施

(1)教育理念・目標

(2)学校運営

(3)教育活動

(4)学修成果

(5)学生支援

(6)教育環境

(7)学生の受け入れ募集

(8)財務

(9)法令等の遵守

(10)社会貢献・地域貢献

(11) 国際交流

5. 評価項目に対する評価

(1) 4段階で点数評価しました。

4: 適切 3: ほぼ適切 2: やや不適切 1: 不適切

(2) 委員会で提出された意見や質疑、提案事項を記載

① 全体を通しての評価結果に対するご意見、ご質問等

(委員からの質問)

救急救命学科の学生数増加について、自分が在学中の学生数は 5、60 名程度であったと記憶しているが、4、5 年で倍増の 100 名超となっている理由は何か。

(学校より)

卒業生の活躍による知名度の向上、救急救命士を目指す学生の増加、高校の進路指導効果、カリキュラムの浸透などが要因と分析している。

(委員からの報告)

最近の高校現場の状況報告として、学力があってもメンタル面で登校が厳しい学生が増えていること、保護者に余裕がないことが伺えること、学生は職業選択に苦慮していること、スマートフォンとコロナの影響が大きいこと、学生支援に加えて保護者支援も必要となってきたことなど、校長先生視点で教育が難しくなっていると感じている現在の高校事情について説明をいただいた。

(委員からの意見)

社会貢献活動について、地域と関わることは大変良いことであり、専門学校は学習に忙しいイメージがあり、組織立って継続実施することは難しい面もあると思われるが続けていただきたい。

(学校より)

効率的なカリキュラム改革を進めており、時間割上で授業を実施しない時間帯を作ることにより、このような他の活動も取り組みやすいように改変している。

(委員からの質問)

就職状況について、道外に就職する学生はいるか。

(学校より)

学科によって希望して道外に就職する学生がいる。救急救命学科の東京消防庁希望や視能訓練学科の高待遇などを例に道内の需要がないための道外就職ではない旨を説明。

(委員からの質問)

国家試験不合格者について、救急救命学科在学時に授業が聴講できるなどの国家試験不合格者に対するサポート体制があったと思うが、他学科にも同様にサポートする体制はあるのか。

(学校より)

不合格者を輩出した救急救命学科、歯科衛生学科、臨床検査学科のサポート方法について、及び学校としても卒業がゴールではなく、資格取得までしっかりサポートする方針であることを説明。

また、国家資格は取得したが希望の就職ができなかった救急救命学科の卒業生に対しては、期限付きではあるが学科の TA(ティーチングアシスタント)として在校生への授業協力をいただき、かつコミュニケーション等の個人スキル向上にも繋げて、次の就職に役立てる体制もあることを補足。

6. その他

(1)以下、令和5年度 学校自己点検・評価要約です。詳しくは令和5年度 学校自己点検・評価報告書を併せてご覧ください。

項目1 教育理念・目標

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

項目2 学校運営

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

項目3 教育活動

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

項目4 学修成果

- ・項目評価 3.4
- ・就職率向上について、一部学科で目標未達。資格取得率が向上した学科もあるが、多くの学科では、国家資格取得が就職率に結びつくため、国家資格取得向上が必要である。
併せて、様々な理由により学習継続が困難な学生も多く、進路変更による退学も増加し退学率低減を図れなかった学科があった。
改善策として、就職率向上については、早期からキャリア教育を行い専門職への意識向上を行う。資格を活用した仕事のやりがい、将来設計や活躍場所についての理解を深める教育を行う。
資格取得率向上については、入学時から国家試験受験までスケジュール感を持った一貫した対策内容を実施し、効果測定を行う。実施した施策ごとに検証して再構築を図る。また、学科間でノウハウを共有することで、学校として効率的な取り組みの充実を図り、安定した合格率達成を目指す。
退学率の低減については、キャリア教育を行うことで医療人としての覚悟、取り組み、やりがいを浸透させ、学びのモチベーション向上を図る。また、学業不振による退学に対しては、資格取得率向上施策とも合わせて取り組む。

項目5 学生支援

- ・項目評価 4.0
- ・特に課題はなかった。

項目6 教育環境

- ・項目評価 3.6
- ・特に課題はなかった。

項目7 学生の受入れ募集

- ・項目評価 4.0

- ・歯科技工学科、医療事務クラーク学科など、目標未達の学科があった。

改善策として、職業認知が低い職種については、対象を高校生だけではなく社会人に広げつつ、業界と協力して魅力を発信することで認知度の向上を目指す。

項目8 財務

- ・項目評価 4.0

- ・特に課題はなかった。

項目9 法令等の遵守

- ・項目評価 4.0

- ・特に課題はなかった。

項目10 社会貢献・地域貢献

- ・項目評価 4.0

- ・特に課題はなかった。

項目11 国際交流

- ・評価対象が

以上